

## 大越路をマイペースで散策

大越まちづくり協議会(菅野輝夫会長)主催の「第3回ふれあいウォーキング」が6月28日、おおごえふるさと館をスタート・ゴールで開かれました。

406人の参加者は小雨が降る天候にもかかわらず、3kmと7kmのコースに分かれ、自分のペースで大越路を歩きました。7kmコースでは、普段通ることのできない旧住友大阪セメント引込線のトンネルを懐かしい思いで歩きました。参加した皆さんは、ゴール後に配られたおにぎりや豚汁に舌鼓を打ち、豪華景品が当たるおたのしみ抽選会にワクワクするなど、楽しい一日を過ごしました。大越行政局内にスナップ写真を8月20日まで展示しますので、ご覧ください。



## 熱戦を制し、日東粉化が3連覇



第10回田村市長旗争奪野球大会が5月25日と6月1日の2日間、常葉と滝根の運動場で行われました。大会には市野球協会各支部に登録している15チームが参加し、トーナメント方式で熱戦を繰り広げました。結果は次のとおりです。

●優勝：日東粉化(滝根支部) 写真左 ●準優勝：オプトネクス(常葉支部)

## おいしく、楽しく学ぶ



常葉「第4回寿学級」の28人が、7月7日にいわき市の大和田自然農園でブルーベリー摘みとピザ作りを体験しました。ブルーベリーの保存方法を学び、自分で作った石窯焼きピザのおいしさに感動しました。ポレポレいわきで「超高速!参勤交代」を映画鑑賞した後、いわき市考古資料館で湯長谷藩の企画展を見学し、歴史を深く学びました。

## 壮大な悠久の浪漫に触れる



大越「ふれあい学級」は6月16日に現場研修を行いました。天候に恵まれ、喜多方市新宮熊野神社長床や雲嶺庵(ほまれ酒造の庭園)を見学しました。学級生34人は、44本の太い柱が並んだ拝殿長床の壮大な吹き抜けに感動。大人7人が手をつなげる太さの大イチョウ(神木)では、「銀杏が色づく頃に訪ねたいね」との声が上がりました。

## 二輪車県大会、優勝報告



第38回二輪車安全運転福島県大会の団体の部で初優勝した田村地区チーム選手兼監督の坪井正広さん(大越町)と、個人の部20歳未満クラスで優勝した石井達也さん(常葉町)が6月26日、富塚市長に優勝の報告をしました。富塚市長からは祝福の言葉とともに激励金が手渡されました。石井さんは8月2日・3日の2日間、三重県鈴鹿市で開かれる全国大会に県代表として出場します。

## 都路新たな希望へ一歩前へ「ふるさと都路会」



ふるさと都路会の第16回総会が6月29日、東京のホテル・パークサイドで行われました。会員や来賓、市関係者約60人が出席し、事業・決算報告などが承認されました。会員の募金で毎年実施の「ふるさと都路文庫寄贈」では、渡辺会長から富塚市長へ目録が手渡されました。懇親会では、「一言、語りまショウタイム」とふるさと産品が当たるジャンケン大会が行われ、勝っては喜び、負けては悔しがるなど大いに盛り上がりました。

## いわきの魅力を体験



常葉公民館の女性学級「第1回体験教室」が6月7日に開かれ、いわきのかまぼこ工房で自分だけのオリジナルかまぼこ、焼きちくわ作りを体験しました。

自分で作った熱々の焼ちくわの味は格別で、形はともあれ全員がおいしそうに頑張っていました。ダイクルーズの洋上遊覧は、あいにくの空模様と波しぶきでびしょびしょでしたが、参加者はえさを与えると近づくカモメの迫力に感激していました。

## おいしいね! ウィンナー



都路チャレンジ教室の体験学習が6月14日に開かれ、11人の子どもたちが、「ウィンナー・ハンバーグづくり」に挑戦しました。講師はハム工房都路の高橋工場長が務めました。

一人一人が羊腸にひき肉を詰める工程では、皮が破けてしまうなど苦戦しましたが、子どもたちは何とか上手に仕上げました。最後は、工場長の高橋さんが作ったウィンナーをみんなでおいしく試食しました。